

理 科 化 学

〈出題内容・形式・配点〉※出題内容、問題番号、配点は2月3日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 金属単体および金属イオンの性質と反応	マークと記述を併用	25	80分
II 気体の物理量	マークと記述を併用	25	
III 有機化合物の異性体および反応	マークと記述を併用	25	
IV アミノ酸の性質・構造・反応・電離平衡	マークと記述を併用	25	
合計		100	

【出題の基本方針】

教科書に記載されている範囲内に設問内容が収まるように配慮し、個々の基礎的な知識を問うとともに、化学的な思考力や応用力の習熟度を試す問題を出題した。また、日常生活に関連する内容を組み込んだ問題を取り入れるなど、受験生が化学の意義を理解し、身近に感じ、かつ解答しやすいように工夫をした。教科書を十分に学習しておけば解答できる基礎学力を測ることを基本方針とした。

【学習のポイント】

- ・教科書を中心に無機、分析、物理化学分野から有機化学関連分野まで幅広く学習し、確実に基礎知識を身につけた上で、応用力を身につけていくことが重要である。教科書の丸覚えでなく、学んだことを現実の世界と照らし合わせながら発展的に考えることが重要であり、そのことで基礎学力がより確かなものになる。
- ・計算問題は、普段から計算の際に、位取りや単位についても注意を払うこと。
- ・化学式を正確に記述できることは化学の基本であり、日頃から声に出したり、書く練習を行うなど地道な努力を重ねることが重要である。
- ・化学反応は有機物質、無機物質に関わらず関連があるので、いろいろな観点から化学反応を見るように心がけることが必要である。